

高齢者の予防接種

令和6年度インフルエンザ・新型コロナ予防接種

新型コロナワクチンの接種は、令和6年度からインフルエンザと同様の定期接種としての取り扱いとなり、原則として接種費用がかかります。また、令和5年度まで実施していた市による集団接種、無料送迎バス、無料タクシー、予約コールセンターはありません。

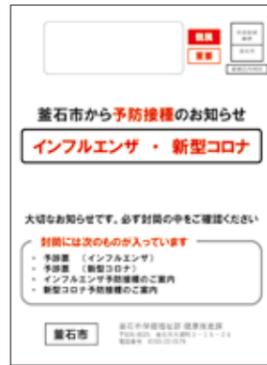
対象者には、次のとおり9月中に予診票と案内文書をお送りします。接種は強制ではありませんので接種を希望する人は、医療機関に予約の上、予防接種を受けてください。

	新型コロナ	インフルエンザ
接種時期	10月1日(火)～令和7年1月31日(金) ※ワクチンの在庫状況により早めに接種を終了する場合があります	
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の高齢者 ・60～64歳の重症化リスクが高い人 	
接種回数	1回 ※これまで1回も接種したことが無い人は、4週間間隔で2回接種することができますが、2回目は任意接種となり、全額自己負担です	1回
接種費用	窓口負担：4,300円 生活保護受給者：無料	窓口負担：2,000円 生活保護受給者：無料
接種方法	医療機関での個別接種	
医療機関・予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関に予約 ・郵送する案内文書に記載します 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関に予約 ・郵送する案内文書に記載します
使用ワクチン	ワクチンメーカーによる生産量、流通量が不明なため公表できません。必要な人は医療機関への予約の際にお問い合わせください。副反応などの情報は市のホームページをご確認ください。	

封筒や予診票のデザインが変わります

インフルエンザと新型コロナワクチンの予診票、案内などをまとめて送付します。

【封筒見本】



【予診票見本】



下の部分が「接種済証」になります。接種後に必要事項を記載しますので、切り取らないでください。

接種当日の持ち物

- 予診票 (紛失しないように、封筒ごと持参しましょう)
- 健康保険証、お薬手帳 ● 接種費用

問い合わせ 市健康推進課 ☎ 22-0179



行政連絡員 ～地域と行政の懸け橋に～

市内には133人の行政連絡員さんがいます。行政連絡員の皆さんには、地域と行政の懸け橋として、次の各地区の役員の皆さんを中心に、広報をはじめとした行政情報紙の配布の他、2種類の募金の活動をお願いしています。

会長	菊池 成夫 (栗橋)	理事	高田 健二 (小佐野)
副会長	浅沼 ツル子 (唐丹)	監事	藤井 静子 (小佐野)
副会長	大橋 宥平 (小佐野)	理事	佐野 育恵 (甲子)
理事	佐々木 静男 (釜石)	理事	大石 美智子 (大橋)
監事	松本 眞弓 (釜石)	理事	古川 幹敏 (鶴住居)
会計	佐々木 サチ子 (釜石)	理事	菊池 孝義 (栗橋)
理事	佐藤 力 (中妻)	理事	松木 貞子 (唐丹)

問い合わせ 総合政策課 オープンシティプロモーション室 ☎ 27-8463

日本赤十字社活動資金は災害救護活動に役立てられています！ ～5月頃から現在実施中～

行政連絡員の皆さんが集めた戸別募金の他、町内会、法人などから寄せられた活動資金は、被災地への救護班派遣、救援物資の備蓄・配布、被災者の心のケア活動などに役立てられます。また日本赤十字社は平時から、国際活動やボランティアの育成、命を守る講習の普及を行っています。



救援物資の配布



避難所での巡回診療



医療救護班の派遣

問い合わせ 日赤釜石市地区 (市地域福祉課) ☎ 22-0177

赤い羽根共同募金は福祉事業運営の貴重な財源です！ ～10月から実施～

行政連絡員の皆さんが集めた戸別募金の他、街頭募金、法人募金などで寄せられた募金は、障がい者施設の施設整備費や福祉まつり、社会福祉大会などの事業費に充てられます。また、申請事業による助成金で町内会活動も支援しています。



利用者が増え、また、車両の老朽化により送迎に支障ありましたが、車両購入により解決できました (障がい者自立センターかまいし)。



長年の課題であった給湯器や水回りの整備により、入居者の入浴の効率、食器洗浄が便利になりました (かみくり荘)。



問い合わせ 釜石市社会福祉協議会 ☎ 24-2511